学力向上を図るための授業改善推進プラン全体計画

令和８年度　小平市立小平第七小学校

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領
・東京都教育目標・方針
・小平市教育目標・方針

こどもも大人も笑顔と思いやりがいっぱいの学校

＜学校教育目標＞

◎よく考える子　◎よい考えいっぱい　他者と考えを深め合える子
○いつも元気な子　○あいさついっぱい　すすんで行動しようとする子
○こころのやさしい子　○思いやりいっぱい　相手の気持ちを考えられる子

学校・地域の実態や願い
○楽しい学校
○活力のある学校
○安全安心な学校
○開かれた学校
○子どもが健やかに成長する学校

学校経営方針

●確かな学力の定着と向上
「主体的・対話的で深い学び」を大切にし、他者の考えを聞きながら、自分の考えを確かなものにできる児童の育成を目指す。
・各教科等における児童の「表現力」、特に「お互いの考えを伝え合う力」の育成に向けた指導を徹底する。

●たくましく生きる力の育成
「日常的な挨拶の指導」を徹底し、いつでも、どんなことにも、すすんで粘り強く取り組むことができる児童の育成を目指す。

●豊かな心の育成
「人権を尊重する学級経営」を進め、自他の生命を大切にするとともに、相手の気持ちを考えて行動できる児童の育成を目指す。

●情報教育の推進　●特別支援教育の充実　●キャリア教育の推進　●研究・研修の活性化　●コミュニティ・スクールの推進

各教科等の特質に応じた見方・考え方

国語　対象と言葉，言葉と言葉との関係を，言葉の意味，働き，使い方等に着目して捉えたり問い直したりして，言葉への自覚を高めること。
社会　社会的事象を，位置や空間的な広がり，時期や時間の経過，事象や人々の相互関係に着目して捉え，比較・分類したり総合したり，地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること。
算数　事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え，根拠を基に筋道を立てて考え，統合的・発展的に考えること。
理科　「量的・関係的」，「質的・実体的」，「多様性と共通性」，「時間的・空間的」な視点で捉え，比較したり，関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えること。
生活　身近な人々，社会及び自然を自分との関わりで捉え，よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとすること。
音楽　音楽に対する感性を働かせ，音や音楽を，音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え，自己のイメージや感情，生活や文化などと関連付けること。
図画工作　感性や想像力を働かせ，対象や事象を，形や色などの造形的な視点で捉え，自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすこと。

育成を目指す資質・能力の三つの柱

学びに向かう力
人間性等

どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を総合的にとらえて構造化

何を理解しているか
何ができるか
知識・技能

理解していること・できることをどう使うか
思考力・判断力・表現力等

出典：「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」補足資料　（文部科学省　平成 28 年 12 月 21 日）

各教科等の特質に応じた見方・考え方

家庭　家族や家庭，衣食住，消費や環境などに係る生活事象を，協力・協働，健康・快適・安全，生活文化の継承・創造，持続可能な社会の構築等の視点で捉え，よりよい生活を営むために工夫すること。
体育　運動やスポーツを，その価値や特性に着目して，楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え，自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること。
外国語活動・外国語　外国語で表現し伝え合うため，外国語やその背景にある文化を，社会や世界，他者との関わりに着目して捉え，コミュニケーションを行う目的や場面，状況等に応じて，情報を整理しながら考えなどを形成し，再構築すること。
特別の教科　道徳　様々な事象を，道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで（多面的・多角的に捉え，自己の生き方について考えること。
総合的な学習の時間　各教科等における見方・考え方を総合的に活用して，広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え，実社会・実生活の課題を探究し，自己の生き方を問い続けること。
特別活動　各教科等における見方・考え方を総合的に働かせて，集団や社会における問題を捉え，よりよい人間関係の形成，よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に関連付けること。

「主体的・対話的で深い学び」による授業改善

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
○各教科・領域で課題解決的な学習と交流学習の重視 ○学習者用端末などのＩＣＴ機器やデジタル教科書等の効果的な活用 ○個に応じた指導の充実 ・少人数指導 ・習熟度別・課題別の学習 ・特別支援教室「はなみずき」との連携 ○読み・書き・計算の習熟 ・校長先生と九九チャレンジ ○体験的な学習の充実 ・食育、保健指導・自然体験、福祉体験、栽培活動	○各教科等における児童の「表現力」、特に「話合い活動を通してお互いの考えを伝え合う力」の育成に向けた指導の徹底 ○各教科等及び学校行事等と「特別の教科　道徳」の授業との関連を図る「心の教育のカリキュラム・マネジメント」の推進 ○計算クエストや東京ベーシック・ドリルの活用 ○読書月間の設定と年間を通した朝読書の実施	○校内研究における、児童の「伝え合う力」を高める指導の追究 ○学級会を通して、合意形成の力を高める指導の工夫 ○課題解決型の学習による主体的・対話的で深い学び」による授業の実践 ○小・中連携教育において「学力向上」に焦点を当てた取組 ○学習者用端末の授業等への活用方法についての OJT 研修の企画・実施	○学習指導要領に対応した各教科の指導計画と評価規準、評価計画の作成 ○育成を目指す資質・能力の三つの柱に沿って、全ての教科等で「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点で評価し、「指導と評価の一体化」を実現 ○評価委員会を設置し通知表の文言を確認 ○評価研修を実施し、評価内容・評価方法を教職員間で共通理解 ○教師の授業評価・学力調査結果を生かした授業改善プランの作成	○授業公開、学校評価などのアンケートを活用した授業改善 ○放課後子ども教室と連携した活動の充実 ○七小支援ネットと協力した、きめ細かな指導の充実 ○コミュニティ・スクールによる幼・保・小・中の連携及び地域連携の推進